

議案第41号

南風原町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例

南風原町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例を別紙のとおり提出する。

令和7年9月10日提出

南風原町長 赤 嶺 正 之

(提案理由)

国家公務員の人事院規則の改正等に準じ、仕事と育児の両立支援制度の利用に関する職員の意向確認等に係る規定を加えるほか、所要の規定を整備する必要があるため提案する。

## 南風原町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例

南風原町職員の勤務時間、休暇等に関する条例（平成26年南風原町条例第25号）の一部を次のように改正する。

第16条の4を第16条の5とする。

第16条の3第1項中「申告、請求又は申出（次条において「請求等」という。）」を「請求等」に改め、同条を第16条の4とし、第16条の2の次に次の1条を加える。

（妊娠、出産等についての申出をした職員等に対する意向確認等）

第16条の3 任命権者は、南風原町職員の育児休業等に関する条例（平成4年南風原町条例第19号）第20条第1項の措置を講ずるに当たっては、同条の規定による申出をした職員（以下この項において「申出職員」という。）に対して、次に掲げる措置を講じなければならない。

- （1） 申出職員の仕事と育児との両立に資する制度又は措置（次号において「出生時両立支援制度等」という。）その他の事項を知らせるための措置
- （2） 出生時両立支援制度等の請求、申告又は申出（以下「請求等」という。）に係る申出職員の意向を確認するための措置
- （3） 南風原町職員の育児休業等に関する条例第20条の規定による申出に係る子の心身の状況又は育児に関する申出職員の家庭の状況に起因して当該子の出生の日以後に発生し、又は発生することが予想される職業生活と家庭生活との両立の支障となる事情の改善に資する事項に係る申出職員の意向を確認するための措置

2 任命権者は、3歳に満たない子を養育する職員（以下この項において「対象職員」という。）に対して、規則で定める期間内に、次に掲げる措置を講じなければならない。

- （1） 対象職員の仕事と育児との両立に資する制度又は措置（次号において「育児期両立支援制度等」という。）その他の事項を知らせるための措置
- （2） 育児期両立支援制度等の請求等に係る対象職員の意向を確認するための措置
- （3） 対象職員の3歳に満たない子の心身の状況又は育児に関する対象職員の家族の状況に起因して発生し、又は発生する事が予想される職業生活と家庭生活との両立の支障となる事情の改善と資する事項に係る対象職員の意向を確認するための措置

3 任命権者は、第1項第3号又は前項第3号の規定により意向を確認した事項の取扱

いに当たっては、当該意向に配慮しなければならない。

#### 附 則

この条例は、公布の日から施行し、改正後の南風原町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の規定は、令和7年10月1日から適用する。